

都道府県名：茨城県	市町村名：水戸市
1. 活動名 茨城県元気な森林づくり（里山整備事業）	
<p>2. 取組の背景、目的</p> <p>背景 水戸市栗崎町地内に存する木戸房池周辺の里山は、市内に残された貴重な財産であったが、ごみ不法投棄の場、放置林（荒廃林）と化し、急速に緑地は衰えていった。</p> <p>この里山の周辺地は、住宅団地、小学校、幼稚園、総合病院、国道 51 号線、高速道路の I C が隣接している所であるが、貴重な湧水もあり、湿地帯から溜池へと自然に流れている状態である。</p> <p>自治体としても、里地里山の重要性は十分認識はしているが、極度の不況下「財政的困窮」との理由により、緑化事業量が減少した。</p> <p>このように、全国的に荒廃する山林の状態では、地球の温暖化はさらに加速させ、様々な悪影響が複合的に生じ、将来の子供達に禍根を残すことになる。</p> <p>目的 茨城県内の森林面積はおよそ 19 万 ha.、このうち民有林は 14 万 ha. であるが、開発事業により年々減少している。また山林所有者の経営意欲の減退から放置林→荒廃林→ゴミ捨て場となり、環境悪化の大きな原因のひとつにもなっている。</p> <p>私たちは、この地を調査し、プチエコジカルネットワーク（分断劣化した生物生態系の回復地）地域として捉え、整備することにより、多くの生き物が帰ってくることを確信、当該地をエコアップ管理地として、地域の人々との、協働により将来の子供たちに引き渡す責任があるものと認識している。</p>	
3. 実施主体 特定非営利活動法人 エコ・グリーン いばらき	
<p>4. 取組の概要</p> <p>茨城県の森林面積率は 31% で大阪府と並んで全国でも低い。</p> <p>みどりの多いところは「安らぎ感」が得られることは認められている。人間生活とみどりが調和を保ち、潤いのある県土を創造することを願い、地域住民の方々と話し合いを続けてきたが、多くの問題点があることを改めて認識させられている。</p> <p>特に①資金調達問題 ②ボランティアの継続的参加 ③大量の不法投棄廃棄物処理問題で、自治体にあってはごみ処理の予算付けは不可との回答が出された。（廃棄物処理業者の試算では約 100～150 t との廃棄物があると回答してきている。）</p>	
5. 支援事業 茨城県元気な森林づくり活動支援事業	
<p>6. 取組等についての成果や課題</p> <p>①資金調達問題 平成 20 年茨城県において、豊かな自然環境を守るため、森林湖沼環境税の徴収がスタートし、身近なみどりの保全、整備推進のための助成金「元気な森林づくり活動支事業」により、里山整備事業に着手、現在三期目が終了したものである。</p> <p>②ボランティア参加者問題 当初、地権者・隣接住民の方々より、そんなにしてまで「何故」という疑問が投げかけられていた。</p> <p>平成 21 年に入り「協働」という意見が多く寄せられるようになり、結果、隣接地で組織されたグリーンパーティ栗崎、いきいきコミュニティ稲荷二、水戸市住みよいまちづくり推進協議会、大洗ロータリークラブ社会奉仕会等々により多くの人々が里山整備に参加するようになった。</p> <p>③不法投棄廃棄物処理問題 解決できない重要課題であり、見切り発車であった。</p> <p>平成 21 年(社)茨城県廃棄物協会中央支部より全面協力の申し出があり、コラボレーションとして大型廃棄物処理運搬車 2 台、作業員 30 名の参加者が加わり、電化製品、家具類、古タイヤ、ガラス類、農業用資材約 30 t の処理をすることが出来大きな成果が得られた。</p> <p>除伐、倒木、下枝処理により発生した植物性廃棄物は外部に出さず、里山内でチップ化し、園路に敷き均し「エコロード」として再利用、高齢者の散策コースとして喜ばれ活用されている。</p> <p>貴重な緑の財産を守り育てていくためには、緑の健康診断を毎年継続的におこなって行くことが必要であり、環境に優しい移住空間づくりを市民一人ひとりが作り上げていくことを呼びかけている。</p> <p>三年間、里山整備作業により 4 2 種類の野鳥とウサギ、たぬき等、小動物が観察され、年ごとに増加していると、日本鳥類保護連盟茨城支部長（山口萬壽美先生）より報告を受けている。</p> <p>特に生き物から学ぶ空間としての里山は、自然の「ものさしとして」の活用が期待されるとしている。</p>	



《倒木材は里山内で全て処理》



《伐根材も里山内で処理》



《間伐材は木柵に利用》



《廃材はチップに利用》



《0~3 cm 程度にチップ化》



《チップ敷き均し作業》



《エコロード作業》



《チップ 15 cm~30 cm 厚》



《間伐材によるビオトープづくり》



《間伐材による八橋作り》



《間伐材によるベンチ作製》



《環境学習会開催》
(森林の役割について)